

# 自然災害伝承碑の調査支援事業

実施主体：国土地理院  
事業費：9.9百万円  
対象事業：連携事業

## 事業目的

自然災害伝承碑の把握に必要な調査に関するモデル事業を実施して効果的な調査事例を収集し、調査のためのマニュアルを作成することで、各市区町村による自然災害伝承碑の把握・登録の推進を図り、自然災害伝承碑に残された過去の自然災害に対する教訓を活用した地域防災力の向上を図ります。

## 事業概要

連携先：市区町村

### 【現状及び課題】

- 国土地理院では、過去の自然災害に対する教訓を住民に分かりやすく伝え、教訓を踏まえた的確な防災行動により被害を軽減するため、先人が災害教訓を伝えようと残した石碑・モニュメントである自然災害伝承碑の情報について、市区町村の申請を受けて、令和元年から、ウェブ上の地図等に順次掲載し、活用促進を図っています。
- 石碑等を各市区町村が調査するに当たっては、「専門的知見が足りない」「調査の負担が大きい」等の課題があるため、自然災害伝承碑の把握が進んでおらず、その活用がままならない地域も存在します。

### 【取組内容】

- 本推進費によりモデル事業を実施し、各市区町村における自然災害伝承碑の調査のためのマニュアルを作成します。

## <事業スキーム>



## 実施イメージ

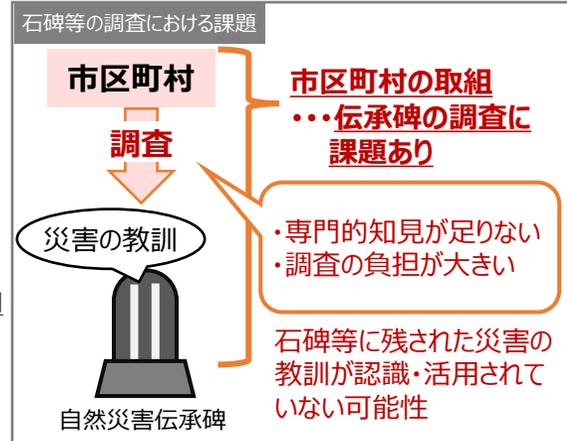
### <本事業で実施する取組>

#### 石碑等の調査における課題を解決するモデル事業を実施

課題の内容、災害の種類、地域差等を考慮した15程度のモデル市区町村を選定

モデル事業を通じて効果的な調査事例を収集

#### 調査のためのマニュアルを作成



### <本事業により得られる効果>

作成したマニュアルを基に、全国の市区町村において自然災害伝承碑に残された自然災害に対する教訓を把握

普及啓発や災害対応への活用

自然災害に対する教訓を踏まえた災害対応力の強化

〔大規模災害における住民の的確な防災行動による被害軽減等〕